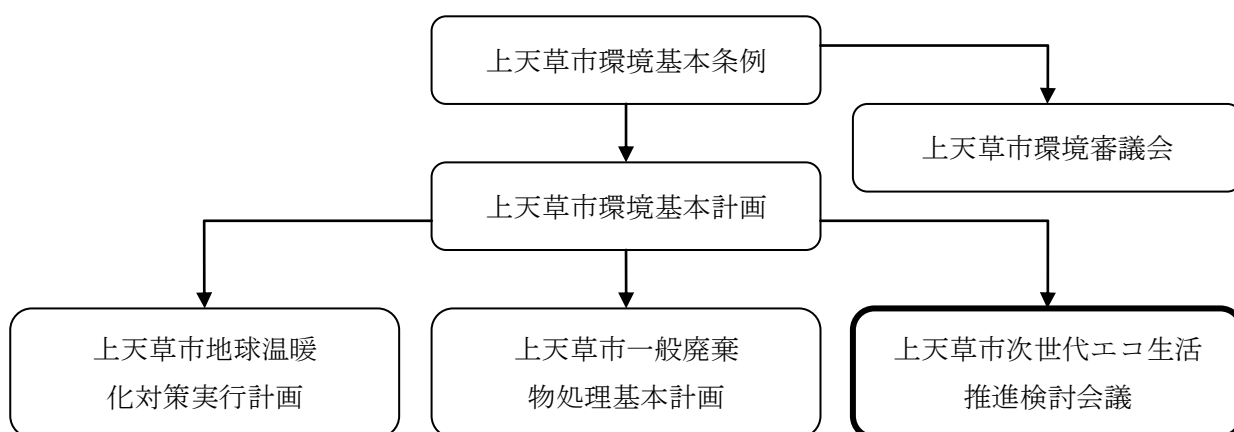


上天草市次世代エコ生活推進検討会議の概要

1 目的

本会議は、上天草市環境基本計画に掲げる「人と海がふれあう環境にやさしいまち上天草市」の実現に向け、市民、環境団体、学識経験者及び市が協働して、環境に配慮した新しい生活様式を考え、本市における次世代のエコライフに関し、湯島地区をモデルとして提言するものである。

2 位置付け



- (1) 上天草市環境基本条例（平成21年12月制定）
- (2) 上天草市環境基本計画（平成23年3月策定）
- (3) 第2次上天草市地球温暖化対策実行計画（平成24年3月策定）
- (4) 上天草市一般廃棄物処理基本計画（平成24年3月策定）
- (5) 上天草市環境審議会（平成22年7月設置、第2期：平成24年7月～）

3 組織

- (1) 設置年月日：平成24年11月16日
- (2) 設置根拠
上天草市次世代エコ生活推進検討会議設置要綱（平成24年9月4日制定）
- (3) 所掌事務（検討事項）
 - ① 省エネルギー・省資源の取組の推進及び新エネルギーの利活用等を中心とした次世代のエコライフに関すること。
 - ② ①に係る新しい生活様式の実験的な取組に関すること。など
- (4) 委員の構成：委員10人以内
- (5) 委員の任期：2年（ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間、再任あり）

4 基本方針

本会議の設置及び検討における基本方針は、単なる新エネルギーの導入にとどまらず、エネルギーの地産地消、地域振興等への寄与、地域の未利用資源の活用、地域に根差した自然との共生等、上天草地域の特性を活かした「スマートコミュニティ」*の構築を基本的な考え方とし、エネルギー問題の解決に向けた地域レベルからの貢献を目指し、次のとおり掲げるものである。

| | |
|------------------------------------|---|
| (基本方針1) 豊かな自然を活用した新エネルギー等の導入 | 日照条件に恵まれていることや潮の干満の差が大きく流れが速いことなど、本市の有する地域特性や資源等を活かした新エネルギー等の導入を目指す。 |
| (基本方針2) 未利用資源の有効活用による資源循環の促進 | 一般廃棄物やバイオマス資源などの未利用資源をエネルギー源として有効活用することにより、資源の循環を促進する。 |
| (基本方針3) 省エネルギーの推進 | エネルギーの需要を抑制し、新エネルギーの導入効果を高めるため、市民、事業者及び行政の協働により更なる省エネルギーを推進する。 |
| (基本方針4) 新エネルギー等の導入による産業振興や雇用の創出 | 新エネルギー関連産業の誘致や地域振興、観光振興等の複合目的を持った新エネルギー施設の導入等を図ることにより、市内における産業の振興や雇用の創出につなげる。 |

※スマートコミュニティとは…これまで以上に情報通信網を駆使し、エネルギーを効率的に使い、新産業を起こし、社会福祉等の生活機能を充実させた、安全で快適、しかも人と街とが一体化して強固なコミュニティを形成する街づくりのこと。家庭やオフィス、商業施設などで使う電気、エネルギーを情報通信技術（ICT）を利用して地域全体で目に見える形で管理し、効率的に活用しようとする考え方で、実現していく中では、インフラ整備、エネルギー供給、情報通信網の普及、新エネ・省エネ住宅の整備等、新たなビジネスモデルや雇用の創出も大いに期待することができる。

5 今後のスケジュール（予定）

- (1) 上天草市次世代エコ生活推進検討会議の開催
 - ① 第2回検討会議（平成25年1月7日）
 - ② 第3回検討会議（平成25年2月）
 - ③ 第4回～第6回検討会議（平成25年5月～平成26年3月）
- (2) 庁内調整（会議等）（平成24年12月～平成26年1月）
- (3) 住民説明会の開催（平成25年5月、平成26年2月）
- (4) 賦存量調査の実施（平成25年6月～12月）
- (5) とりまとめ及び提言書の作成（平成26年3月まで）
- (6) 実証実験の開始予定（平成26年4月～）